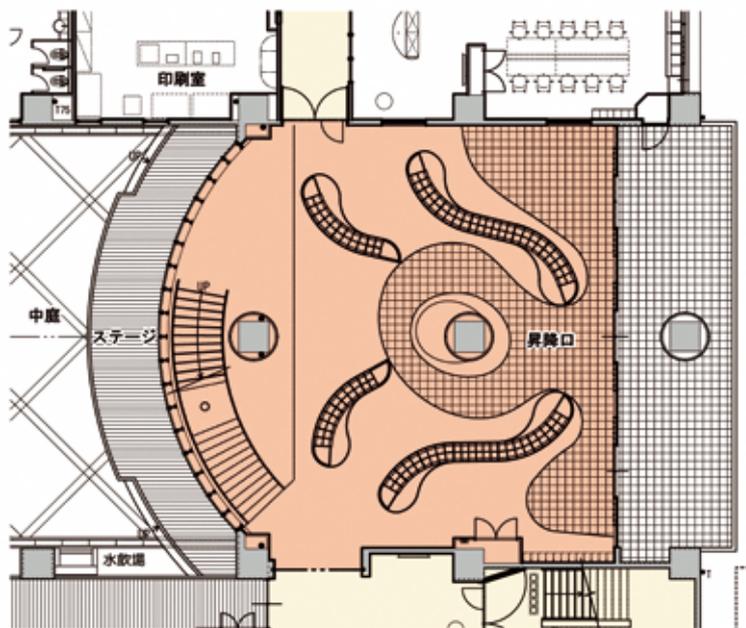


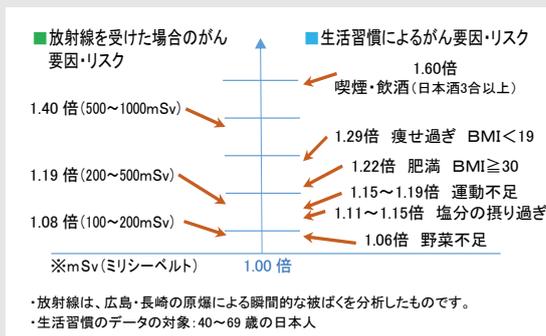


今回は昇降口を紹介します。生徒を迎え入れる昇降口は、1日の始まりの場所。「今日も1日頑張ろう!」と前向きな気持ちになれるよう、居心地の良いエントランスを造りました。下駄箱は、高さを抑えた曲線的な造りでベンチを随所に設けることで、生徒間のコミュニケーションが自然に生まれるあいさつ広場としての空間にしました。靴を履き替えて教室に向かうと正面には中庭があり、吹き抜けと廻り階段があります。階段を上がると、目の前には新しい浜中の顔となるメディアセンターが広がります。また、中庭側からガラス越しに校舎全体を見通せる明るい造りとなっています。次回は、教室に設置するICT機器を紹介します。



照会 教育総務課 ☎0537-298733

放射線を人体に受けることを「被ばく」といいます。さらに、レントゲンなどで身体の外から放射線を受けることを「外部被ばく」、放射性物質で汚染されたものを飲んだり、吸ったりすることにより、体内から被ばくすることを「内部被ばく」といいます。被ばくとすると細胞の遺伝子は傷ついてしまいます。しかし、人体には損傷した箇所を修復する機能があるため、受けた放射線量が少ない場合はほとんどの遺伝子が修復され、人体への影響はなくなります。しかし、一度に大量の放射線を受けると組織や臓器の働きが悪くなり、不妊や脱毛、白血球減少などの症状が現れます。



# Atomic

暮らしと原子力

放射線の基礎知識①  
放射線による人体への影響について

放射線を人体に受けることを「被ばく」といいます。さらに、レントゲンなどで身体の外から放射線を受けることを「外部被ばく」、放射性物質で汚染されたものを飲んだり、吸ったりすることにより、体内から被ばくすることを「内部被ばく」といいます。被ばくとすると細胞の遺伝子は傷ついてしまいます。しかし、人体には損傷した箇所を修復する機能があるため、受けた放射線量が少ない場合はほとんどの遺伝子が修復され、人体への影響はなくなります。しかし、一度に大量の放射線を受けると組織や臓器の働きが悪くなり、不妊や脱毛、白血球減少などの症状が現れます。

この影響は、1000~2000ミリシーベルトで1.08倍、2000~5000ミリシーベルトで1.19倍と、受けた放射線量におおむね比例する傾向があるとされています。しかし、1000ミリシーベルト以下では、生活習慣などの要因による発がんとの区別ができません。そのため、人体への影響は分からないとされています。